

# ものづくり表彰2021 表彰企業

## 1. 東京商工会議所品川支部推薦企業

### 株式会社コーテック

所在地 品川区北品川 4-2-1

代表者名 古川 龍文 氏（代表取締役社長）

事業 転写箔・成型用ラミネート蒸着シートの製造、蒸着技術による委託加工

URL <http://www.coatech.co.jp/>

### バイバイワールド株式会社

所在地 品川区荏原 3-7-14

代表者名 高橋 征資 氏（代表取締役社長）

事業 エンターテインメントロボットの開発・製造、ハードウェア・アプリケーションソフトウェアの企画・開発

URL <https://www.bybyeworld.co.jp/>

## 2. 一般社団法人品川産業協会推薦企業

### 株式会社須長製作所

所在地 品川区東品川 1-36-17

代表者名 須長 満明 氏（代表取締役社長）

事業 空調ダクト設備の設計・製造・施工

URL <https://www.sunagass.com/>

### 株式会社福井製作所

所在地 品川区南大井 5-20-5

代表者名 福井 晃 氏（代表取締役社長）

事業 板金製品・部品の設計、板金加工（小型～大型）

URL <http://www.fukui-ss.co.jp/>

## 3. 東京中小企業家同友会品川支部推薦企業

### Markefan 株式会社

所在地 品川区東五反田 1-14-9

代表者名 アニル クマール 氏（代表取締役社長）

事業 マーケティング・ロボティクス・オートメーションツールの開発・サービス提供

URL <https://www.markefan.co.jp/>

# 真空蒸着・コーティング技術で豊かさ演出

## 東京商工会議所品川支部推薦企業



代表取締役社長 古川 龍文

### 会社概要

#### 本社

品川区北品川 4-2-1

#### TEL

03-6277-3533

#### FAX

03-6277-3651

#### E-mail

tokyo@coatech.co.jp

#### URL

<http://www.coatech.co.jp/>

#### 創業年

1950年

#### 資本金

1,700万円

#### 従業員

50人

### 事業内容

#### 主要営業品目

・プラスチック・紙への真空蒸着及びコーティング加工  
 (転写箔、成形用シート他)

#### 特徴

装飾・包装向けの純銀及びアルミ真空蒸着技術

## 日用品や和洋菓子など消費材の意匠関連に特化

1950年、日本初の金属金銀糸の製造技術を開発し、品川区鮫洲にて創業した。それ以降、基本技術である蒸着の改良・高度化と真空蒸着装置の増強を進め、国内では数少ない真空蒸着・コーティングの専門メーカーとして、活躍を続けている。

現代表は金銀糸以来、培ってきた技術を基盤として、国内市場、意匠関連へ特化するという経営方針を打ち立て、同業他社との棲み分け及び連携を進めてきた。その結果、現在は、紙・プラスチック・皮革・木製品等への文字や模様を熱圧着により転写するフィルム(転写箔)、真空成型・圧空成型する贈答用洋菓子・和菓子向けトレイの成型用ラミネート蒸着シートが主な製品となっている。

オリジナルブランドとして、「コピー機のトナーにのみ熱反応し接着する」、「UV塗布された部分のみに熱反応し接着する」等の特長をもつ、トナー転写及びUV樹脂反応箔『コピカ(copica)』を開発、展開している。



和装用金銀糸



転写箔



成型用ラミネート蒸着シート



コピカ(copica)

## 従来設備と多能工化で試作・小ロットにも進出

製造現場での多能工の育成により、従来からの中小型設備を駆使した小ロット品への適応力を高めている。それまで手掛けてこなかった試作品の委託受注も可能となった。例えば、科学衛星探査・小型実証機のセンサー部品を手掛けている。こうした背景にはリーマンショックによる受注減少を受けて、同業他社が手掛けていない意匠関連の小ロット分野に、現有資源で対応してきたことがある。大型の先端設備や先端技術を導入しなくとも、現場の多能工育成が大きな力となって、会社を支えている。

また、製造現場と営業が一体となった受注活動、徹底した生産履歴の管理等で各部門社員が主体的に納得した仕事を行い、顧客の信頼を勝ち得ている。

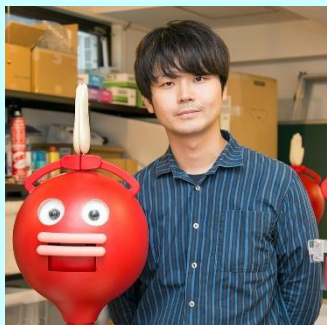
## 今後を見据えた環境への適応

真空蒸着は溶液を使わないドライコーティングの一つで、環境面でも有利な特長を持っている。こうした特長を活かして、紙へのコーティングや再生紙で利用可能なコーティングなど、環境適応を目指して積極的に技術開発を進めている。



## ロボット・エンターテインメントの仕掛け人

東京商工会議所品川支部推薦企業



代表取締役社長 高橋 征資

### 会社概要

#### 本社

品川区荏原 3-7-14

#### TEL

03-6426-9559

#### E-mail

contact@byebyeworld.com

#### URL

<https://www.byebyeworld.co.jp/>

#### 創業年

2013 年

#### 資本金

300 万円

#### 従業員

4 人

### 事業内容

#### 主要営業品目

- ・エンターテインメントロボットの開発・製造
- ・ハードウェア・アプリケーションソフトウェアの企画・受託開発（ゲーム、玩具他）

#### 特徴

ソフトロボティクス技術

### やわらかさを基調に感情に響くロボットを研究

代表は学生時代より、やわらかい素材によるロボットに強い関心を持ち、電子工作、コンピュータミュージック、インタラクティブ技術の習得を行いつつ、独自ロボットの研究に邁進してきた。自らが追い求めるロボット開発を目指して、大学院卒業後、会社を設立した。学生時代よりイベントのシステム開発を通じて関係のあった吉本興行からの受託開発等を行いながら、やわらかいロボット開発を続けた。

よしもとロボット研究所と業務提携し、SoftBank Robotics 社のロボット「Pepper」のオフィシャルコンテンツの企画・開発への協力も行っている。

学生時代よりやわらかさからの連想で「拍手」に着目しており、会社設立後も拍手ロボットの研究を続けていた。

拍手ロボットの研究成果も生かして、玩具として『パチパチクラッピー』も販売している。



パチパチクラッピー  
実験機



最終商品



拍手ロボット実験機

### 研究の結晶である拍手ロボット「ビッグクラッピー」を商品化

これまでの研究の結晶が『ビッグクラッピー』である。特に生身の手が出す本当の音を追求し、そのための素材や形状、叩き方を徹底して研究し商品化した。200 台弱が出荷され、レンタルサービスも行い日本各地のまちで活躍している。

ビッグクラッピーはスマートフォンでの操作、オリジナルの音声による演出など様々な要望に応じた利用が可能となっている。また、昨年、三井化学からのオファーにより手のひら部分の素材を共同開発しており、より本物に近い音響特性が実現しているという。



要望に応じて話し拍手するクラッピー



複数で演技・演奏するクラッピー

### エンターテインメント・ロボットを続々開発

玩具メーカーはじめ受託先も拡大しており、受託開発、自社開発を合わせて、やわらかいを基調に、新しいエンターテインメント・ロボットをゼロから次々に生み出し続けている。実際のものづくりも重要視しており、試作まではすべて社内に対応している。やわらかいロボットで社会を、生活を楽しく、豊かにする会社として、日夜開発を続けている。

# 空調ダクトで社会を支える技能集団

一般社団法人品川産業協会推薦企業

株式会社 須長製作所



代表取締役社長 須長 満明

## 会社概要

### 本社

品川区東品川 1-36-17

### TEL

03-3471-7585

### FAX

03-3471-7037

### E-mail

t\_sunaga@sunagass.com

### URL

<https://www.sunagass.com/>

### 創業年

1948年

### 資本金

4,050万円

### 従業員

50人

## 事業内容

### 主要営業品目

空調ダクト設備

### 主な設備

プラズマ切断機、ベンディングマシン、スポット溶接機

### 特徴

職人の技能に支えられた  
高い対応力

## 設計・製造・施工技能を結集してオーダーメイドに対応

創業以来、一貫して空調ダクトを手掛けており、70年を越える実績をもつダクト専門会社である。ダクトを設置する建物の構造や階高等は同一のケースはなく、受注案件すべてがオーダーメイドとなる。そのため、条件に的確に対応した設計、設計に基づく正確な製造、状況変化にも柔軟に対応できる施工、それぞれの高い技能とそれらの組合せにより、高い品質と顧客の信頼を獲得している。その証拠に、斬新で複雑な形状のフジテレビ本社ビルの球体部、国際展示場ビックサイトの巨大な三角部、スカイツリー最上部の第二展望台部の空調ダクトを手掛けている。その他にも東京オリンピックの会場となった新国立競技場、東京アクアティクスセンターや首都圏の大型プロジェクトである東京ミッドタウン、虎ノ門ヒルズなど、手掛けた実績は枚挙にいとまがなく、高い信頼を裏付けている。

製造現場では、最新設備を活用しつつも、職人の高い技能による様々な形状、材質のダクト製造が行われている。施工現場でも職人の技能が支えている。



高精度大型ベンディングマシン

## 長年受け継がれてきた技能（職人技）で高い信頼を獲得

オーダーメイドで高い品質を実現するためには、設計、製造、施工を担う職人の高い技能（職人技）が不可欠となる。すべての工程に長年の経験が受け継がれているが、中でも製造は改良・改善を図りながら継承されてきた技能がより重要な役割を果たす。常に高い技能水準を維持するため、全製造担当者は「建築板金技能士（ダクト板金作業）」を取得し、日々、工夫を重ねながら複雑形状で材質も異なるダクトを製造している。溶接など様々な資格も取得し、総合的な製造に関する高い技能水準を保っている。

製造とともに経験と技能が求められる施工に関しても、「管工事施工管理技士」を取得するなど、技能水準の維持・向上を図っている。

職人は正社員として採用し、熟練から若手への仕事を通した技能継承とともに、各種資格取得により、長年、安定した高い技能水準を実現している。



職人によるダクト製造



# 先端産業を支える精密板金加工のスペシャリスト

一般社団法人品川産業協会推薦企業



代表取締役社長 福井 晃

## 会社概要

### 本社

品川区南大井 5-20-5

### TEL

03-3761-3121

### FAX

03-3761-3122

### E-mail

fukui@fukui-ss.co.jp

### URL

<http://www.fukui-ss.co.jp/>

### 創業年

1946 年

### 資本金

1,000 万円

### 従業員

29 人

## 事業内容

### 主要営業品目

小型～大型板金加工

### 主な設備

ターレットパンチプレス機、レーザーマシン、超高精度パンチング・ベンディングマシン

### 特徴

超精密板金加工技術

## 多能工と最新設備による高い精度と対応力を実現

創業以来、長年にわたり板金加工を手掛けており、経験と工夫の積み重ねで、小物から長尺物、0.1mm の薄板から厚板、試作から量産、完成品まで、板金加工に関する幅広い対応力を有している。自社開発のプログラミングソフトウェア、CAD/CAM、最新加工設備を駆使することで、高精度、高品質、短納期、低コストを実現している。合わせて、全加工工程や設備に対応可能な多能工の育成により、全体的な生産性向上と幅広い対応力を確保している。熟練と若手、機械と人が融合した体制を構築している。

さらに板金加工において重要な要素技術である溶接において、異種金属板溶接方法の特許を取得するなど、高い技術開発力も有している。

現在は数社の大手光学機器メーカーを主な取引先として、設計提案、部品加工から機構組立に対応している。



最新設備と多能工による加工体制

## 高い付加価値を生み出す設計ノウハウ

以前、中小企業 4 社の共同出資による設計主体の会社を設立している。のちにこの会社は解散したが、そこで学んだ設計ノウハウは今日、大きな力となっている。製品の機能や性能、製造加工コストを考慮した設計の必要性が高まり、取引先からの設計提案、VE 提案まで対応している。

また、設計ノウハウを活かして自社製品を手掛けている。その一つにクリーンルーム



自社で設計・組立したフォトマスクトレイ

内で利用されるフォトマスクトレイがある。これはユーザーの要求を受けて、設計から組立まで行っている。アルミ製部品など約 100 点の部品をクリーンルームに準拠した環境の中で高精度に組み立てている。

## 街に溶け込み地域に密着

騒音や振動対策を図りながら、住宅に囲まれた街の中で、ものづくりを続けている。環境マネジメントシステムであるエコアクション 21 にも登録し環境にも配慮した経営を実践している。また、従業員の大半も近隣に住み、部品加工などの外注も城南地域のネットワークを利用している。こうしたネットワークの利用で一括受注も可能となっている。



代表取締役社長

最高経営責任者 (CEO)

アニル クマール

会社概要

本社

品川区東五反田 1-14-9

TEL

03-5422-9202

FAX

03-6277-4934

E-mail

info@markefan.co.jp

URL

https://www.markefan.co.jp/

創業年

2018 年

資本金

3,990 万円

従業員

10 人

事業内容

主要営業品目

マーケティング・ロボティクス  
オートメーションツール

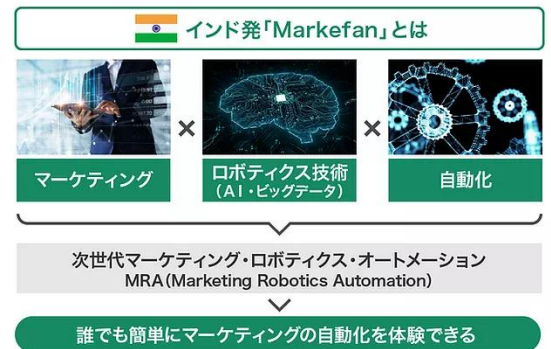
特徴

AI・マーケティング・ビッグ  
データ技術

日本とインドの頭脳連携による高速開発の実現

創業者である代表は、インド出身でコンピュータサイエンスを学び、同国の IT 企業でエンジニアとして活躍していた。日本駐在をきっかけに、日本で上場したスタートアップの創業期に、CTO として経験を積んでいる。日本での経験から、企業にとってマーケティングの改善が不可欠と実感し、その解決を目指して 2018 年に同社を設立した。

マーケティングの生産性向上、営業活動との連動性を実現すべく、ロボティクス技術を駆使したマーケティング・ロボティクス・オートメーション (MRA) ツールを開発した。性能、機能、価格、CX での優位性確保を目指し、インドに開発拠点として BQ テクノロジーズ社を設立し、日本とインドの優位な頭脳を組み合わせた効率的かつ迅速な開発体制を整えている。インドの開発拠点では、AI・IoT・ビッグデータ等の技術に強く、経験豊富なインド人エンジニア 25 名を配置している。



中小企業でも少ない負担で利用できる MRA ツールを実現

当社の MRA ツールは、他社のツールと同様に見込み客の育成と選別プロセスを自動化するものであるが、独自アルゴリズムによる AI 機械学習により、高精度な営業対象となる顧客選別を可能としている。代表を中心に AI 技術には長年の蓄積があり、マーケティングツールへの応用も以前から進めていた。

加えて、高速開発体制による継続的な迅速な改良、中小企業にも負担の少ないリーズナブルな価格でのツール利用が可能となっている。ブラウザ上で簡単に利用可能で最低 3 万円/月で使える。B2B/B2C 顧客どちらにも、社内のデータを利用したマーケティングのために活用可能である。

